

第6学年 総合的な学習の時間

まつかしりつ だいにしょうがっこう
松本市立第四小学校



【学習目標】

- 総合的な学習として他の教科とのつながりをとらえ、広い視野を持って課題に取り組むことができる。
- 実生活の中から問いを見つけ出し、進んで情報を集めたり整理したりすることで解決し、それらを表現することができる。
- 自分自身の姿を見つめ、なかまより良く関わろうとすることができる。

【学習を進めるにあたって】

使用教材	
副教材	「郷土の偉人を知る 三井高利」 (タブレット)
副教材	「郷土の偉人を知る 蒲生氏郷」 (タブレット)

持ち物	
ファイル	筆箱 下敷き タブレット

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読んだり、疑問に思うことや大事だと思うところに印をしたり、調べたりする等して、予習をしてみましょう。
- 提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

前 期	後 期
・「社会見学」 奈良県へ社会見学に行く前に事前学習、社会見学後には、まとめを行う。 ・「郷土の偉人 三井高利・蒲生氏郷」 高利や氏郷の功績や生き方について学ぶ中で、心に残ったこと、これからの自分の生き方に活かしていきたいことを考える。 ・ネットモラル学習 警察署の方の話を聞くことを通して、インターネットの使い方について、考える。 ・「人権学習」 社会の学習と関連させ誰もが持つ権利について学ぶ。	・「修学旅行」 京都方面へ修学旅行に行く前に事前学習を行い、修学旅行後には、まとめをおこなう。 ・「人権学習」 分かったことや考えたこと、これからの自分の生き方に活かしていきたいことを考える。自分たちが学習したことを、表現方法を工夫し、わかりやすく相手に伝える。 ・「プログラミング学習」 スクラッチやスクラッチジュニアを用い、プログラミングについて学習する。

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
技能・知識 断・思考・表現 取組む態度	単元全体を通して、よい点や学び、成長の様子を記述で表します。	授業の様子 グループ活動の様子 発言・発表 制作物 ふり返り